

事業所名 ともサポート教室きりり桃花台校第一単位

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

1 月

20 日

法人(事業所)理念		「誰にだって輝ける舞台がある」一人ひとりが「キラリ」と輝けるように“分かった”“できた”こんな経験を通して子どもたちの成長を見守りたい。					
支援方針		私たちは「その子」をしっかり見つめ、「その子」の立場になって考え、「その子」の成長に喜びを感じます。そして、うれしい時もつらい時も、大人に寄り添われ、自分の思いを受け止めてもらえる中で、「その子」が「自分をかけがえのない存在」と思ってもらえるように努力いたします。					
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活やご家庭での様子を共有し、日常生活が本児らしく落ち着いた環境で過ごすことが出来るよう一緒に考え、助言します。 ・子どもの身体に関するアセスメントをしっかり把握し、活動中の表情や様子を常に見ながら配慮をした関わりを持ちます。 ・事業所内外での安全な過ごし方について、視覚支援などで分かりやすく伝え、理解を促します。 ・発達段階に応じて、基本的な生活スキル（挨拶、衣服の着脱、トイレの使い方、事業所での時間の過ごし方）を獲得できるようサポートします。 ・適切な生活習慣や生活リズムが獲得できるよう支援します。 ・日常生活における時間やお金の管理・計画性などのマネジメントスキルが向上するよう支援します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・机に向かい集中する時間と身体を楽しく動かしたり支援者と様々な活動を楽しむ時間を組み合わせ、心と身体がのびのびと活動を行えるよう支援します。 ・姿勢保持や運動・動作の基本的技能の向上、動作の補助的手段や適したツールの活用を目指します。 ・子どもの感覚の特性や偏りを踏まえながら、五感に働きかける活動や感覚刺激を満たすような活動を行います。 ・感覚過敏など特性に合わせた配慮や環境設定を心がけます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者様と相談をし、困難さや苦手な部分を支援者と一緒に取り組むことで少しずつ自分で出来るようになるように支援します。 ・自分の力で「知りたい」「学びたい」という気持ちが育つように自信が得られるような声かけや関わりを行い、楽しく学ぶ経験が積み重ねられるように支援します。 ・物の扱い方や活動の意図が理解出来るよう支援します。 ・子どもの特性について一緒に関わりながら理解しようと努め、認知の偏りを踏まえた対応に結び付けていきます。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの苦しさから起こりうる行動障害への予測及び適切な行動への支援を行います。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者との関わりの中で他者との円滑なコミュニケーションを学べる支援を行います。また同世代とのやり取りにつなげ、気持ちを言葉やジェスチャーで表出し受け止めてもらうことで自分の気持ちを伝える心地よさを経験していきます。 ・子どもの発達段階に応じて、言葉の理解や表出が豊かになるよう支援します。 ・子どもの発達段階に応じて、文字を読む力や書く力が向上するよう支援します。 ・状況に応じた適切なコミュニケーションができるよう、その都度声かけをしたり、やり取りが楽しめるよう言葉を引き出したり気持ちを受け止めていきます。 ・場面をイメージできるような教材を使用しながら状況に応じた行動が出来るように支援します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や日常生活の中での経験を通じて、人との関係について自分の思いだけでなく相手の気持ちを聞き、自分がどうふるまえばいいのかを一緒に考えていきます。 ・自分の生活の中で不安なことなどを支援者に安心して話せるように気持ちを受け止めたり思いを引き出し、落ち着いて自分らしく過ごせるように支援します。 ・自分の感情や気持ちを理解しようと努め、安定した気持ちで過ごすことが出来るように支援します。 					
家族支援		事業所スタッフは直接的支援を、本部スタッフは間接的支援を全力で行います。問題が発生した場合は、現場で迅速に対応し、本部は丁寧にバックアップします。療育者としての知識や経験を維持・向上させるため、日々研鑽と努力を怠りません。保護者様に実際の支援場面を見学または参加いただいた上で、特性や、特性を踏まえたお子様への関わり方等に関して相談援助を行います。			移行支援		学校や移行する機関との具体的な対応を話し合い、互いの役割分担と協力関係の中で支援していきます。関係機関へ必要に応じて個別支援計画やその計画に基づいた具体的な活動の内容と情報連携を行い、個別支援計画の見直しに生かします。
地域支援・地域連携		地域の方からの信頼を得られるように支援の質を向上させるように努力します。連携会議を定期的開催し、情報収集・役割分担について協議します。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。			職員の質の向上		法人・ブロックエリア・事業所内研修・外部研修の派遣など。療育・制度・5領域等に係る読み合わせ。他校舎見学・交流会など。
主な行事等		季節に応じた制作やクッキング、イベントの開催。(七夕、夏祭り、ハロウィン・クリスマス、お正月や節分などにちなんだ制作や活動) 個別支援だけでなく、小集団、またはペア活動を通じて季節の行事やルールのある活動に取り組んでいます。					

事業所名 どもサポート教室きりり桃花台校第二単位

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

1 月

21 日

法人（事業所）理念		「誰にだって輝ける舞台がある」一人ひとりが「キラリ」と輝けるように“分かった”“できた”こんな経験を通して子どもたちの成長を見守りたい。						
支援方針		私たちは「その子」をしっかり見つめ、「その子」の立場になって考え、「その子」の成長に喜びを感じます。そして、うれしい時もつらい時も、大人に寄り添われ、自分の思いを受け止めてもらえる中で、「その子」が「自分をかけがえのない存在」と思ってもらえるように努力いたします。						
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や自宅での様子を共有し、日常生活が本児らしく落ち着いた環境で過ごすことが出来るよう一緒に考え、助言します。 ・子どもの身体に関するアセスメントをしっかり把握し、活動中の表情や様子を常に観察して配慮をした関わりを持ちます。 ・事業所内外での安全な過ごし方について、子どもの特性に応じて視覚支援などを適宜活用しながら分かりやすく伝え理解を促します。 ・発達段階に応じて、基本的な生活スキル（挨拶、衣服の着脱、トイレの使い方、事業所での時間の過ごし方）を獲得できるようサポートします。 ・適切な生活習慣や生活リズムが獲得できるよう支援します。 ・日常生活における時間やお金の管理・計画性などのマネジメントスキルが向上するよう支援します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・机上に向かい集中する時間と身体を楽しく動かしたり支援者と様々な活動を楽しむ時間を組み合わせ、心と身体がのびのびと活動を行えるよう支援します ・姿勢保持と運動・動作の基本的技能の向上、動作の補助的手段や適したツールの活用を目指します。 ・触れる・聞く・話すなど、子どもの感覚の特性や偏りを踏まえながら、五感に働きかける活動や感覚刺激を満たすような活動を行います。 ・感覚過敏や鈍麻など特性に合わせた配慮や環境設定を心がけます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや保護者様と相談をし、困難さや苦しさを感じる部分を指導員と一緒に取り組むことで少しずつ自分でできることが増えるように支援します。 ・自身の力で「知りたい」「学びたい」という気持ちが育つように自信が得られるような声掛けや関わりを行い、楽しく学ぶ経験が積み重ねられるように支援します。 ・感覚を十分働かせられる活動を通して、物の扱い方や仕組みなどの理解を促していけるよう支援します。 ・子どもの特性について一緒に理解を深めながら、認知の偏りへの気づきや適切な対応に結び付けていけるよう支援します。 ・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの苦手さから起こり得る行動障害への予防及び適切行動への対応の支援を行います。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者との関わりの中で他者との円滑なコミュニケーションを学べる支援を行います。また同世代とのやり取りに繋がるよう、自分の気持ちを言葉やジェスチャーなどで表出し受け止めてもらうことで、気持ちを伝える心地良さを経験していきます。 ・子どもの発達段階に応じて、言葉の理解や表出が豊かになるよう支援します。 ・子どもの発達段階に応じて、文字を読む力や書く力が向上するよう支援します。 ・場や状況に応じた適切なコミュニケーションができるよう、その都度声掛けをしたり、やり取りの中で行動を振り返りながら適切な行動を確認したり、場面をイメージできるような教材を使用しながら状況に応じた行動ができるように支援します。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活や日常生活の中での経験を通じて、人との関係について自分の思いだけでなく相手の気持ちを聞き、自分がどうふるまえばいいのかを一緒に考えていきます。 ・自分の生活の中で不安なことなどを支援者に安心して話せるように気持ちを受け止めたり思いを引き出し、落ち着いて自分らしく過ごせるように支援します。 ・自分の感情や気持ちを理解しようと努め、安定した気持ちで過ごすことが増えるように支援します。 						
家族支援		事業所スタッフは直接的支援を、本部スタッフは間接的支援を全力で行います。問題が発生した場合は、現場で迅速に対応し、本部は丁寧にバックアップします。療育者としての知識や経験を維持・向上させるため、日々研鑽と努力を怠りません。保護者様に実際の支援場面を見学または参加いただいた上で、特性や、特性を踏まえお子様への関わり方等に関して相談援助を行います。			移行支援		学校や移行する機関との具体的な対応を話し合い、互いの役割分担と協力関係の中で支援していきます。関係機関へ必要に応じて個別支援計画やその計画に基づいた具体的な活動の内容と情報連携を行い、個別支援計画の見直しに生かします。	
地域支援・地域連携		地域の方からの信頼を得られるように支援の質を向上させるように努力します。連携会議を定期的開催し、情報収集・役割分担について協議します。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行います。			職員の質の向上		法人・ブロックエリア・事業所内研修・外部研修の派遣など。療育・制度・5領域等に係る読み合わせ。他校舎見学・交流会など。	
主な行事等		季節に応じた不定期イベントの開催。（夏祭り・ブラジルのこどもの日・クリスマスなど） 週1回、児発・低学年の小集団活動を行っています ※ブラジル人スタッフも在籍しており、ポルトガル語圏の方を対象とした個別療育も行ってあります。						